

畦プリンスビーチ海浜公園

畦プリンスビーチは、徳之島の北東の海岸に沿って 1.5 キロにわたって続いています。島の海岸の大部分と同様に、このビーチの海はバリアリーフ（堡礁）に囲まれており、海岸から最長 200 メートルのところまで広がっている透明で穏やかな水は、シュノーケリングに理想的な環境を作り出しています。ここでは、クマノミ、スズメダイ、タツノオトシゴ、ヒトデなどが見られるかもしれません。このビーチのまっさらな砂は、サンゴでできており、かなり粗いです。（サンダルなどの履物をおすすめします）

ビーチの名前は、1972 年の当時の皇太子明仁殿下（1989 年から 2019 年まで在位した日本の第 125 代天皇）と美智子妃のご訪問に由来します。両殿下はこの手つかずの海岸線を楽しまれ、ご訪問後にこの浜はプリンスビーチと呼ばれるようになりました。

公園には、伝統的な日本庭園に見られる東屋を含む、日差しを避けてひと休みできる日陰のスポットがあります。更衣室、トイレ、シャワー設備はすべて無料で利用できます。展望台からはビーチ、周囲の風景、そして遠くの加計呂麻島の景色が望めます。

海辺の無料キャンプ場は徳之島町役場で予約できます。イベント広場には屋根付きの調理エリア、トイレ、シャワーがあります。

このビーチは、2017 年に奄美群島にまたがる奄美群島国立公園の一部に指定されました。